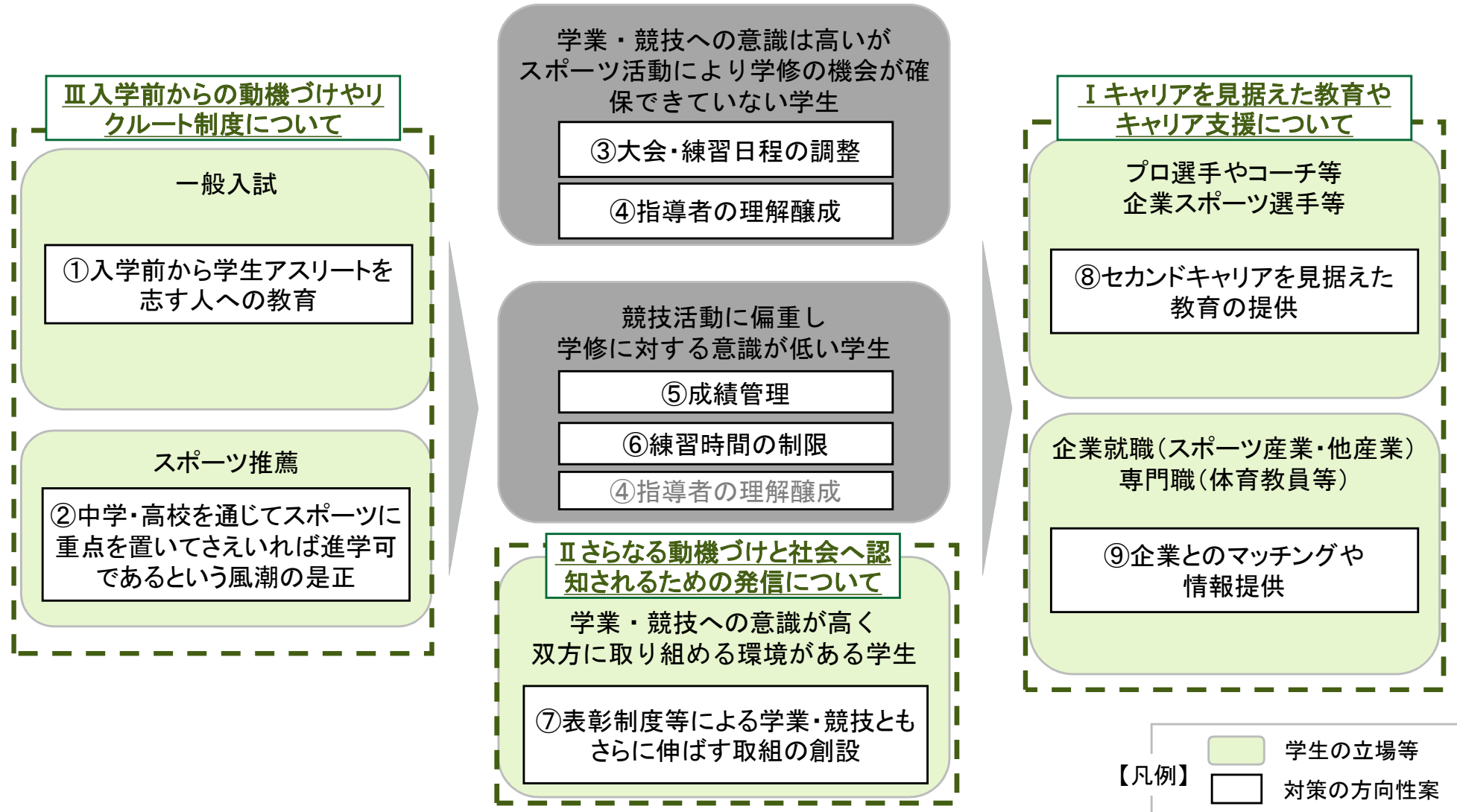


本日の議論の範囲全体像

本日は入学前の対策「リクルートに関する規程・入学前プログラム」とキャリア形成の対策「表彰制度・教育プログラム・キャリアマッチング」等を討議する予定です。



想定し得るキャリア形成時での対策案及び本日の論点

I. キャリアを見据えた教育やキャリア支援について

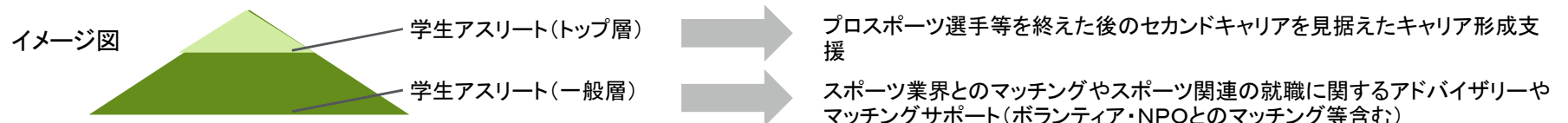
問題意識

- 日本版NCAAにスポーツを通じた人材育成の役割が期待される中で、学生アスリートが社会の様々なところで活躍できるようなキャリア支援が必要ではないか。
- 個々の大学が様々なキャリア支援を行う中、大学横断的に行った方が効率的なものなど日本版NCAAが実施すべきキャリア支援はどのようなものが考えられるか。
- プロ選手、アスリート就職、スポーツ関連企業へ就職、一般企業へ就職等、学生アスリートが希望するキャリアは様々であるが、日本版NCAAが行うキャリア支援の対象者や支援内容を明確にすべきではないか。

論点

- ① 大学のキャリアセンター等と連携しながら、日本版NCAAはキャリア支援についてどのような役割をすべきか。日本版NCAAが実施すべき対策の主な対象者は誰か、また短期に実行可能なもの、時間を要するものは何か。またどのように実現させるか。

例)・各種キャリアキャリアセミナーの実施(運動部学生向けの就職セミナー、スポーツ関連就職セミナー、セカンドキャリア対策セミナー等)
 ・学生アスリート向けボランティア・インターンプログラムの提供
 ・OB・OG含めた名簿の作成と管理



表彰での対策案及び本日の論点

II. さらなる動機づけと社会へ認知されるための発信について

問題意識

- これまで学業成績の振るわない学生や競技偏重の環境にある学生向けの対策について議論してきたが、学業と競技の両立が実施できている学生の活動の更なる充実のための動機づけも必要ではないか。
- 日本版NCAAに、スポーツを通じた人材育成の役割が期待される中で、優れた功績を残した学生アスリートや大学等を評価し、社会へ発信・認知してもらう事が重要ではないか。

論点

- ① 日本版NCAAとして学業成績も良好で競技も十分に打ち込んでいる学生に向けてさらなる動機づけをする施策は何か。

例：表彰制度

- ② 日本版NCAAとして実施すべき表彰は何か。またその狙いと対象者は誰か。

例：米国NCAAにおいては、対象者毎に、以下の施策が実施されている。

(对学生)学業成績・地域貢献・競技成績を総合した評価

(対監督・コーチ等)競技成績のみならず該当チームから優秀な学生を輩出できたか、地域貢献への新たな取り組みの有無など

(その他)スポーツ分野へ貢献した新たな研究成果の表彰や評価

※対象者は卒業生を含め関係者を広く設定し、関係者の動機づけ、愛校心の醸成や寄付金の増額等を狙う。

想定し得る入学前での対策案及び本日の論点

Ⅲ. 入学前からの動機づけやリクルート制度について

問題意識

- 在学中の学業支援のみならず、入学前の学生アスリートやその関係者の学業への意識を醸成することも重要。
- 高校生への早期の大学リクルートは、結果的に、運動部活動への偏重を助長しているのではないか。
- 日本版NCAA加盟大学へは中学・高校に向けたリクルートに制限を設ける等によって、学業と競技の両立の理念の浸透等を促すことはできないか。

論点

- ① 日本版NCAAが実施すべき対策とは何か、また短期に実行可能なもの、時間を要するものは何か。またどのように実現させるか。
例：(短期)高校教員向け共通セミナーによる啓発活動／(長期)リクルート活動のガイドライン策定と管理(高校生に接してよい期間の設定など)、学生アスリート向け試験等学力の底上げのための基準設定、高校生が実施すべき勉強などのガイドラインの策定等
- ② 上記対策を実施する場合、どのような関係者と議論し、連携を進めていくべきか。